

株式会社 文化放送

メディアコミュニケーション学部情報文化学科

1年 齊藤 有加

1. 実習企業（団体）の概要

フジサンケイグループの AM ラジオネットキー局で、コールサインは JOQR。前身は聖パウロ修道会が設立した日本文化放送協会。関東広域圏が放送エリアである。文化の日イベント「浜祭」には毎年約 10 万人が参加している。FM 放送も 15 年 12 月から 91.6MHz で放送開始。ネット分野にも注力している。事業パートナー(株)文化放送キャリアパートナーズは「ブンナビ!」「文化放送ナースナビ」等の就職サイトを通じ、採用活動全般にわたるコンサルティング事業を展開している。

- ・開局日 1952 年 3 月 31 月 ・資本金 1 億 9,200 万円
- ・所在地 東京都港区浜松町 1 丁目 3 1 番地
- ・周波数 AM1134kHz FM91.6MHz ・送出ワット AM100kW FM 7 kW
- ・売上高 74 億 6,200 万円 ・社員数 108 人 (2016 年 10 月 1 日現在)
- ・代表取締役社長 三木 明博

2. 実習内容

広報記事切り抜き・庶務手伝い・用語解説・スタジオ見学・技術見学・CD ルーム研修・PODCAST 見学・運行チーム研修・みのりの箱委員会・企画書作成

3. 実習の成果

私は今回、5 日間のインターンシップに参加させていただき、「人と話す」ことや「会社の仕組み」などについて学びました。「人と話す」ことについては、私が放送事業部の皆様を毎日見ていて感じたことですが、放送事業部全体が、誰と会話をするのにも、明るくラフに話をし、目上の人に対しても、敬語だけでもラフに話をしており、コミュニケーションがとれているのだと感じました。私はこのことから、「人と話す」ことについて、いつも笑顔で親しみをこめて話すことや、明るく話すことの大切さを学びました。「会社の仕組み」については、会社は多くの人間で成り立っていることや、派手で注目される職業の裏には、その職業を支える多くの職種があること、また、誇りを持って働くことの大切さを学びました。昼食をご一緒させていただいた時には、昼食中にも、仕事の話がされており、熱意を持ち真摯に仕事に向き合っていることが分かりました。私が就職活動をするのはまだ先ですが、人間関係をより良くすることで、円滑に仕事をし、誇りをもって働くことができるような仕事に就きたいです。

4. 実習の感想

私は、ラジオが大好きで、文化放送の番組もいくつか聴いておりましたので、今回のインターンシップに参加することができ本当に幸せで、また大変勉強になりました。ラジオを聴いているだけではわからない、ラジオ業界の裏側や企画書の作成、ラジオ番組を制作する段階までに整えていく大変さ、ラジオに関わる多くの人々など、私が想像していたよりもはるかに深いラジオの世界を知ることができました。また、ラジオは放送時間ごとに聴取者となる年代に合わせた番組作りをしており、例えば、私たちのような学生向けは、授業が終わり帰宅するくらいの時間に合わせ、アニメや声優系のラジオ番組を固めています。私は、聴取者のことを一番に考えながら、そして聴いてもらえるような工夫をしていることに感動しました。私にとって、ラジオがあることは「あたりまえ」でしたが、「あたりまえ」を作りつづけ、「あたりまえ」をより良い「あたりまえ」にすることは、責任も伴うことであると思います。その責任を背負い日々新しいラジオを作り続ける文化放送の皆様は本当に素敵でした。この度は、このような貴重な経験をさせていただき、誠にありがとうございました。文化放送の皆様のような社会人を目指し、より一層精進して参ります。

— 実習プログラム —

日数	実習日	実習内容
1日目	9月5日(月)	広報記事切り抜き・庶務手伝い・用語解説・スタジオ見学
2日目	9月6日(火)	広報記事切り抜き・スタジオ見学・技術見学
3日目	9月7日(水)	広報記事切り抜き・スタジオ見学・CDルーム研修・PODCAST見学・ 運行チーム研修
4日目	9月8日(木)	広報記事切り抜き・スタジオ見学・PODCAST見学
5日目	9月9日(金)	広報記事切り抜き・スタジオ見学・みのりの箱委員会・企画書制作